

— 法政大学 —

2月7日 文・経営・人間環境・グローバル教養学部 英語

解答

[I]

1. (1) b (2) c (3) d (4) b (5) d
(6) a (7) d (8) c (9) c (10) b
(11) b
2. c / b

[II]

1. (ア) a (イ) c (ウ) d (エ) a (オ) c
2. (A) a (B) d (C) c (D) b (E) d (F) c
3. b 4. a / b 5. b / e 6. b

[III]

1. c 2. b 3. d 4. c
5. d 6. b 7. d 8. a

[IV]

1. (1) b (2) a (3) d (4) a
(5) b (6) b (7) d (8) c
2. (A) b (B) a (C) c (D) b (E) a (F) c
3. (ア) d (イ) c (ウ) a
4. c / g

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

[増田塾 2019 解答速報ホームページ](#)

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

解 説

[I]

1.
 - (3) 空所(2)の直後に「彼は読書が大好きだった」とあるので、空所(3)を含む文は「同年代の人たちとは違って、彼はビデオゲームやスマートフォンで見られる電子書籍よりも紙媒体の本に魅了されている」という意味になる。したがって、選択肢 d.の **fascinated** が正解。
 - (4) **pick up the habit** 「習慣がつく／癖がつく」
 - (5) 空所の後ろに前置詞句が来ていることから、空所には自動詞が入ることが分かる。自動詞は選択肢 b.と選択肢 d.である。次に文意を確認すると「彼が小学校から中学、高校へと成長するにつれて、彼の好奇心も当然のごとく広がった」と解釈できる。したがって、選択肢 d. **expanded** が正解。
 - (6) / (7)

「自分の母国語である日本語のレベル（を超えて）、英語で書かれている本からの（一節）を読み始めた」

2. never failed to give him the

空所の直前にある **that** の後ろには **SV** が続く。選択肢内で主語になる名詞を探すが名詞が **him** のみで主語にはなりえないことから、**that** が関係代名詞だということが分かる。次に、動詞は **never fail to V** 「必ず V する」が入るので、**never failed to give** という語順になる。最後に、**give** が第 4 文型を取る動詞であることから、**give him the (greatest pleasure)** という語順になる。したがって、**never failed to give him the** が正解。

[II]

1.
 - (ア) **in the depth of** ～ 「～の最中に」
 - (イ) **in response to** ～ 「～に応じて」
 - (ウ) **try out** 「試す」

3. muscle one's way 「強引に進む」

4. 完成した英文は以下の通り。

We live in a world that (demands we be) the (same as everyone) else.

5. 完成した英文は以下の通り。

(not only will) we (have more individual) opportunity
 not only のような否定の副詞句が文頭にあるときは倒置が起こる。

6. 第 3 段落第 3 文参照。

〔Ⅲ〕

1. 第2段落最終文に「アルバムは遊ぶためのものではない」とあるので、選択肢 c.「家族のアルバムは重々しく扱わなければならない」が正解。
2. 白黒の服装でお墓参りをする記述はないので、選択肢 b.が正解。
5. 筆者が National Portrait Gallery に行ったことがなかったのは本文から明らか。したがって空所 C には選択肢 b.か d.が入る。空所 D は、後ろにある **except for a handful of kings, and perhaps Shakespeare and Dickens** 「一握りの王様、シェイクスピア、ディケンズを除く」がヒント。これらの人物は誰もが「知っている」はずである。空所 D に **would not have known** を入れると「それらの人物が誰であるか知らなかっただろう」となり文意が通る。
8. 最終段落に「National Portrait Gallery は、国家の『家族アルバム』であり、そのおかげで、我々は（自分の文化的）背景を知るのだ」とある。したがって選択肢 a.「National Portrait Gallery は訪問者の一部に、（自分の文化的背景などについて）再確認できたという感覚を与える」が正解。

〔Ⅳ〕

1.
 - (4) do 「役立つ／間に合う」
 - (5) a bunch of～ 「一束の～」
a bit of～は不可算名詞に対して使うのでここでは不可。
 - (6) have trouble (in) Ving 「V するのに苦労する」
 - (8) intentionally 「わざと／故意に」 (= deliberately / on purpose)
2.
 - (A) 下線部の訳は「実際の金額は1万円だった」であるが、本文中で WAKAKO は「5千円」と言っていたことが分かる。ここでは選択肢 b.がふさわしい。
 - (B) 下線部の訳は「我が家はこれ以上この風習を行うことはない」である。
 - (C) 下線部の訳は「それは私の問題だよね？」である。ここでの **business** とは「仕事」ではなく「用事」であることに注意。この意味で **business** を用いた頻出表現として **None of your business.**や **Mind your own business.**がある。訳は共に「余計なお世話だ」である。
 - (D) 下線部の訳は「それはここにいる誰かにとってふさわしいだろう」であるが、それは腹を立てている TAKAKO のことを言っていることが分かる。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ 

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！